

NORC ニュース

(総 会 特 集 号)

社団法人 日本外洋帆走協会

草や木の芽が萌え出ると、今まで静かに眠っていたヨットも、目覚めて突然活気を呈してくる。NORCの動きも、何ともいえぬ力強さが感じられ、新しい方針や、意見が、百人百様に飛び交うことはまことに頼母しいことであり、NORC飛躍の原動力になるのであろう。今年も今までにない盛会裡に通常総会を終えて、新しい役員の誕生を見、日ならずして新しいアイデアやビジョンが力強く押し進められようとしている。

国際レースも「VAGO」が、シドニーホバートレースに参加し将来性のある成績を収めて無事完走し、今回はまた、チャイナシーレースに「CHITA III」と「EPICUREAN II」の2艇が出場するなど、いよいよ活潑化しつつあることを喜ぶとともに、心から良き成績を収められるよう祈ってやまない。

ただ、NORCもクラスVの登録が急速に増えているので、もちろん十分に自覚しておられることとは思うがシーズンを前にして鶴の真似をする鴉にならないように慎重の上にも慎重でありますように呉々も願うする次才である。

目 次

I 本 部	1
1. 第18回理事会開催報告	1
2. 第7回通常総会報告	2
3. 第19回理事会開催報告	3
4. 本部連絡事項	4
(1) 急告 // 会費納入を遅延した会員の取扱い内規の制定	4
(2) NORC船舶登録規程の改訂	5
(3) レース委員会からのお知らせ	5
(4) 安全委員会からのお知らせ	6
(5) 事務局よりのお知らせ	6
(6) "NORCたより" 発刊のお知らせ	7
II 関 東 支 部	8
1. 第7回関東支部通常総会報告	8
2. 関東支部連絡事項	9
(1) 講習会予定のお知らせ	9
(2) ポイントレースについてのお知らせ	10
III 東 海 支 部	
(記事なし)	
IV 京 都 支 部	
(記事なし)	

V	内海支部	11
1.	内海支部だより	11
2.	内海支部45年度レース予定表	14
VI	西内海支部	15
1.	第3回別府レース案内	15
VII	会員及び登録艇	16
1.	会員及び登録艇の現状	16
2.	会員の異動	17
(a)	住所又は勤務変更	17
(b)	会員間の異動	18
(c)	新入会員	19
3.	新登録艇の紹介	24
4.	名簿追記及び訂正	25
	特輯「CHITA III」チャイナシーレースに優勝す	26
	あとがき	26

I 本 部

1. 才 1 8 回理事会開催報告

第7回通常総会の予備的な理事会であって、事業報告、計画や決算、予算の如き型の如き議事の他に、諸規定の改訂、役員の変更と重要な議事が山積している割に極めて順調に審議が行なわれた。

記

日 時 昭和45年2月21日(土) 1220～1520

場 所 東京都千代田区平河町2～7(全共連ビル) マツヤサロン

出席者 関谷健哉 古屋徳兵衛 秋山博正 大儀見薫 飯島元次 高村 信
横山 晃 外山賢三 関根 久 吉谷竜一 角田 博 丹羽由昌
佐藤充弘 井上正春 穎川三郎 松木 哲 田中敬一 計17名

委任状 2通

オブザーバー 名和幸夫 樽谷 博 伊藤武雄

審議議案

第1号議案 昭和44年度事業報告及び収支決算書の承認を求める件

第2号議案 昭和45年度事業計画及び収支予算書案の承認を求める件

第3号議案 事務所移転に伴う定款の一部変更承認を求める件

第4号議案 1970年度安全規則等の制定及び改訂の承認を求める件

- (1) 1970年度安全規則の制定
- (2) 計測申請手続に関する施行要領の別表の改訂
- (3) レース規則の一部改訂
- (4) 登録規程の一部改訂
- (5) 会費の納入を遅延した会員の取扱い内規の制定

第5号議案 資産の変更(登記事項)

第6号議案 役員の変更

第7号議案 会員に関する承認を求める件

- (1) 入会者

(2) 賛助会員の推薦

(3) 脱会並びに除名者

第8号議案 外洋レース(八丈島レース、鳥羽パールレース)の予定の承認を求める件

2. 才7回通常総会報告

今回の通常総会は概ね型の如き議事が多く、会員の関心は薄いと思われたが、同時開催の関東支部第7回通常総会において、NORCの新事務所借入れに対する財政措置の決定という関心議案があったためか、会場には入りきれないほどの出席会員が集まり1530の開会時には定款に定める定足数を遙かに上廻る出席者を得て、開会することができた。

また、第6回通常総会にはご病気で出席できなかった関谷会長も今回はお元気にてご出席になり、古屋、秋田両副会長揃ってご出席あり、大儀見専務理事の名調子により各議事とも極めて順調に審議可決され1700閉会された。

なお、当日議決された議案は

第1号議案 昭和44年度事業報告及び収支決算について

第2号議案 昭和45年度事業計画及び収支予算について

第3号議案 事務所移転に伴う定款の変更について

第4号議案 諸規則の制定及び改訂について

(1) 1970年度安全規則の制定

(2) レース規則の一部改訂

第5号議案 役員の改選について

第6号議案 賛助会員の推せんについて

第7号議案 除名者について

なお新らしい理事及び監事の顔ぶれは次のとおり決定した。

理事 20名

関谷 健哉	古屋 徳兵衛	秋田 博正
大儀 見薫	高村 信	飯島 元次
渡辺 修治	横山 晃	関根 久

福永 昭	名和 幸夫	角田 博
丹羽 由昌	伏原 幹一郎	井上 正春
秋山 福夫	松木 哲	額川 三郎
樽谷 博	伊藤 武夫	

監事 2名

土肥 勝由 外山 賢三

3 才19 理事会開催報告

第7回通常総会において選任された20名の改選理事のうち会長、副会長等を互選するため、通常総会直後に新任理事によって開催され、まことに円滑かつ迅速に次の役員が決定した。

会 長	関 谷 健 哉	
副 会 長	古 谷 徳兵衛	秋 田 博 正
専務理事	大儀見 薫	
常務理事	高 村 信	名 和 幸 夫

専門委員長

総 務 委 員 長	大儀見 薫
海事思想普及委員長	名 和 幸 夫
安 全 委 員 長	横 山 晃
計 測 委 員 長	渡 辺 修 治
レ ー ス 委 員 長	福 永 昭

専門委員

計 測 委 員	}	周東英卿	武市 俊	林賢之輔	国松 磐
海事思想普及委員					
安 全 委 員		各支部の各委員長を当てる。			
レ ー ス 委 員					

(1) 急 告 //

会費の納入は4月末日までに納入しないと大変なことになります。

第18回理事会において、下記の内規が可決され即日実施されましたので、是非ともご一読下さいまして遺憾なきを期して下さい。

記

会費の納入を遅延した会員の取扱い内規

第1条 (社)日本外洋帆走協会組織及び運営規程第13条第1項に定める会費の納入を遅延した会員の取扱いは、この内規による。

第2条 会費納入の期日は、その年度の2月末とするが、4月末日まで納入しなかった会員に対しては、次の取扱いをする。

1. 特別会員の場合は、5月1日以後開始されるレースの出艇料を非登録艇並みとする。
2. 正会員及び準会員の場合は、5月1日以後開始されるレース参加料を非会員並みとする。
3. 5月1日以後にNORCより発送するすべての印刷物の発送を停止する。
4. 諸会合への招請を停止する。
5. レースの参加賞の授与を停止する。

第3条 年度内に会費を納入しなかった会員に対しては、総会に対して除名の手続きをとる。

第4条 正規の手続きをなして長期間(1月1日より12月31日にわたり)海外に滞在する会員に対しては、

1. その期間の会費の納入は会員の自由意志によるものとする。
2. 会費の納入があった場合は、印刷物等はその滞在地宛に送付するものとする。
3. 会費の納入がない場合は、印刷物等の送付は停止するが、除名手続きはとらないものとする。

第5条 この内規は、理事会の議決を得なければ、変更することができない。

附 則

この内規は、昭和45年1月1日より施行する。

(2) NORC 船舶登録規程の改訂

第2条は下記の如く修正の上可決された。

改 訂 前	改 訂 後
(登録の条件)	(登録の条件)
第2条 NORCに登録する艇は、すべて次の条件を満たすものでなければならない。	第2条 NORCに登録する艇は、NORC会員の所有するもので次のいずれかに該当しなければならない。
(1) NORC会員の所有艇であること。	(1) 健全な外洋帆走艇であること。
(2) 健全な外洋帆走艇であること。	(2) 軽クルーザーの基準を満たす艇であること。
(3) 外洋ヨットレース出場資格に適合しない艇で、軽クルーザーとして登録することができる。	

3 レース委員会からのお知らせ

- ① 八丈レースの第一回艇長会議は4月27日1830より船舶ビル10FAB会議室にて、第二回艇長会議は5月1日0800よりシーボニアヨットクラブにて行います。
- ② 総会にて八丈レースは新レーティングルールにより行いと発表しましたが、参加艇が12隻と予想外に多く、又新ルールによる計測が非常に手間がかかり、八丈レースまでに全艇の新レーティングを出す見通しが立ちませんので、やむをえず、旧ルールのクラスⅢ以上を参加艇の資格とし、旧レーティングルールによりレースを行います。
- ③ 鳥羽レースの第一回艇長会議は7月13日1830より船舶ビル10FAB会議室にて、第二回艇長会議は7月23日1700より鳥羽にて行います。
- ④ 八丈レース、鳥羽レース共に申し込みは本部にて受付ますが、関東支部以外の方々は、郵送で申し込みをされても結構ですし、第一回艇長会議は事前に確実な連絡をとって頂ければ欠席されても結構です。その方法については、本部に直接電話をしてご相談下さい。
- ⑤ 新レーティングルールは1971年2月のレースより適用されますが、計測に大変時間がかかり、又艇数も多いので、なるべく本年中に申し込んで下さい。

(4) 安全委員会からのお知らせ

- ① 1970年度安全規則の適用は5月1日よりとする。従ってそれ迄に安全検査を受けること。
尚4月30日迄のレースには1969年度安全検査証を、新艇は1970年度安全検査証を持つこと。
- ② 八丈レース出場艇に必要であるSOS自動発信機は年1度の検査(指定業者による)が法令で定められています。検査期限の切れていないかどうかチェックして下さい。
- ③ ライフラフトも有効検査期限の切れているものは指定業者にて点検整備を行って下さい。
- ④ アンカーチェーンの長さについては二分割にしても結構です。
- ⑤ ライフブイにシーアンカーを付けることになりましたが、本年度は、自動発光ブイの付いたライフブイ及び適当なロープ(3~5m)の付いたライフブイはシーアンカー付と認めることにいたしました。

(5) 事務局よりのお知らせ

- ① 事務局の勤務時間を次のようにいたしましたのでお知らせいたします。

月	}	曜日	0930 ~ 1730
水			
金			

火	}	曜日	0930 ~ 1900
木			

土 曜 日 0930 ~ 1230

- ② 長い間会員の皆さんにお引立ていただいた事務員 関 千寿子 は一身上の都合により3月31日付退職いたしました。
- ③ 物品頒布価格変更のお知らせ。

NORC本部取扱いの物品の価額が次のように変更されましたのでお知らせします。

1.	エンサイン旗	1枚	750円
2.	クラブ旗	1 "	550 "
3.	レース旗	1 "	550 "
4.	ネクタイ(特製)	1本	1,500 "
5.	" (並製)	1 "	1,000 "
6.	バッヂ	1個	250 "
7.	帽章	1 "	550 "
8.	ワッペン	1 "	350 "
9.	ネクタイピン	1 "	400 "
10.	新計測ルール誌(欧文写真版)	1冊	360 "
11.	ヨット用ログブック	1 "	500 "(予定)

(6) 『NORCだより』発刊のお知らせ

従来の『NORCニュース』は次回から、新らしく『NORCだより』と改題し、写真・カットなどを入れて、内容もなるべくやわらかくしたものに変わります。

発行回数も従来の年4回を6回とし、2月、4月、6月、8月、10月、12月の隔月発行です。

規格は今のところタブロイド判10頁位を予定しています。予算の関係で、一部広告を入れることを考えておりますので、篤志家はどしどし、広告の申し入れをお願いします。代金、スペースなどまだきまっておりませんので、委細面談の上決定したいと思います。

内容は今のところ、従来の庶務事項の報告を集約して掲載するほか、会員消息、レースレポート、フリートまたは各支部の通信、NORCだよりのお知らせ、海外事情の紹介、会員の声などです。本件についてご意見、よいアイデアなどあればご教示願います。

会員の声、投稿など歓迎しますので、どしどしお寄せ下さい。NORCだよりの第一回の発行予定は6月1日です。原稿の締切りは5月6日とします。字数はとくに制限はありませんが大体2000字程度まででお願いします。是非ご協力のほどをお願いします。とくに地方からの声を期待します。

II 関 東 支 部

1. 才7回関東支部通常総会

本年も、本部通常総会と日も同じ、所も同じ、国会議事堂を間近かに望む、平河町のマツヤサロンで開催したが、折からの仏滅にて、さすがのマツヤサロンもやゝ閑散として会議には上々の静かさだった。

今回は本部及び関東支部事務所が独立事務所を借入れたため、支部基金の臨時増額問題に併せて役員の改選期にも当るため、出席会員は今までになく多数にのぼり、予定会場の手狭や椅子の用意の不足など、世話役を悩ます一幕もあるほどであった。お蔭で定足数不足の心配は吹飛んでホッとしたが、それにしても、出席なら出席、欠席なら欠席の「はがき」ぐらいは出して貰いたいものと事務局はボヤいていた。無理もないことである。

1700本部通常総会終了に引つゞいて直ちに、名和総務委員長のユーモアたっぷりの司会によって会議は進められたが、関東支部基金の増額についても殆んど異議を称える者なく満場一致をみた。その他レース規則の改訂に当ってファーストホーム賞をなくすることについて多少の異見の発表があった外は、殆んど原案通り審議が進み、1810全議案の完了をみることができた。

議決された議案は次の通りである。

- | | |
|-------|-----------------|
| 第1号議案 | 関東支部44年度決算書について |
| 第2号議案 | “ 45年度予算書について |
| 第3号議案 | “ 運営規則の改訂について |
| 第4号議案 | “ 役員の改選について |
| 第5号議案 | “ 基金の臨時的改訂について |
| 第6号議案 | 沼津フリートの設置について |
| 第7号議案 | 1970年度レース予定について |

なお1970年度関東支部常任委員及び監事は次のとおり決った。

関 谷 健 哉 古 屋 徳 兵 衛 大 儀 見 薫

高村 信	名和 幸夫	福永 昭
飯島 元次	横山 晃	渡辺 修治
関根 久	土肥 勝由(監事)	外山 賢三(監事)
芦田 等	鳥飼 俊宏	森村 譲二
岩田 禎夫	柏村 勲	平野 喜美夫
福吉 信雄	高村 孝	近藤 禎之
吉谷 竜一	津野 守邦	中戸 将治
五十嵐 正彦	村本 信男	周東 英卿
武市 俊	林 賢之輔	金原 良一
山崎 達光	落合 公平	小島 卓次郎
モートン	戸田 雄之	竹下 政彦
安岡 信一		

2. 関東支部連絡事項

(1) 講習会予定のお知らせ

- 4月21日(火) 1830~1930
「特定水域航行令」 高村 理事
- 〃 〃 1940~2130
「外洋ヨットの帆走について」 関根 理事
- 5月19日(火) 1830~1930
「航海術について」 高村 理事
- 〃 〃 1940~2130
「外洋ヨットの帆走について」 関根 理事
- 6月23日(火) 1830~1930
「運用術について」 高村 理事
- 〃 〃 1940~2130
「計測規則について」 周東計測委員

会費は、会場費その他として各回ごとに1人500円、多数のご聴講をお願いします。

(2) ポイントレースについてのお知らせ

相模湾ポイントレースの申し込み方法が変りました。申し込みは、レース前日2030～2130までに艇長会議の行われる場所で受付ます。遅刻した艇は2130～2230までの間に申込遅延料1000円を支払えば参加を認められます。..時間厳守のこと!

出場全艇の発表は2230に掲示します。なお4/19、5/10、6/7のポイントレース申し込み受付はシーボニアにて行います。

なお、スプリングシリーズ第2回戦(3/15)において葉山マークが流失し、ノーレースになりました。運営委員一同深くおわび致します。今後かかる事故のないよう、専用マークの製作等を検討中です。

V 内海支部

1 内海支部だより

1月17日西宮ヨットハーバー、関西ヨットクラブレストランで新年宴会兼44年度表彰式を行なった。参加者50名、盛会であった。席上秋田支部長より、「内海支部事務局が、和歌山より西宮市西波止町1-2、関西ヨットクラブ内に移転し、それにもない、津田事務長が、来年に控えた、和歌山国体のヨットの責任者として奔走中で、NOROCの御世話に行きとどかぬ懸念があるとの理由で辞職され、新事務長に樽谷博氏をお願いしたい、又これを機に停滞気味の内海支部の飛躍を望みたい」との挨拶があり、全員拍手で承認した。

樽谷新事務長は、津田氏への多年にわたる御苦労に対する謝意、及び、スタッフ一同初心に還って、メンバーに対するサービスを第一に考えてゆきたいとの抱負を述べたあと、新しいスタッフを紹介した。各正副部長は下記の通り

総務	合田 督	武内 良夫	
レース	谷川 晴彦	藤山 陽三	大橋 哲也
普及安全	塚本 修	福谷 修	
表彰	井上 透	馬服 広志	
計測	松本 哲	浜永 裕	
行事	神村 正弘	中庭 祐蔵	

なお、支部長、事務長、正副部長により構成する運営委員会を1ヶ月に1度開催し、内海支部の運営を協議する。任期は二年間とする。各担当部長より本年度の方針が発表された。

総務 新会員の獲得に全力を投入し、会費に対するメリットあるNOROCを運営してゆきたい。レースは安く出来れば無料で行いたい。賞杯・パッチ・フラグ等内海支部としての特徴を出してゆきたい。入会業務、会費の取扱は、内海支部で取扱う。住友銀行尼崎支店、日本外洋帆走協会へ振込んで下さい。

レース 誰もが参加するレース。メンバー外でも参加出来るレース。楽しいレースを目標にやりたい。スケジュールは別紙の通り。

普及・安全 レース参加艇を増す為に遅延罰金は取止める。申込期日は、保安部署への申告の許す限り柔軟的に考えてゆきたい。安全規則等の簡単なパンフレットを作成配布する。安全講議をオープンレースの前に行う。普及講座を開催する。

表彰 レース毎に賞杯を渡す。賞杯は一括購入し、内海独自のものを作成する。参加賞バッジ等を全員に渡せる様に考える。

計測 内海支部で計測出来る様な態勢をととのえる。内海支部に属する艇は必ず計測する様呼び掛ける。

行事 ランデブウ 5/3 都志港(淡路島西浦)
忘年会 12/6 神戸にて。

引続き表彰式に移った。44年度表彰艇は次の通り

1. 紀伊水道レース

総合1位 甲 竜 I

2. 大阪湾横断レース

ファスト・フィニッシュ賞	又 玄
1 位	てんこち(YIG 1位)
2 位	又 玄
3 位	どんどろ
軽クルザー	1 位
	ピ バ

3. 高松レース

ファスト・フィニッシュ賞 ミネルバIII

1 位 ミネルバⅢ

4. 幡磨灘レース

ファスト・フィニッシュ賞 又 玄

1 位 風天丸

2 位 アポロⅡ

3 位 又 玄

以上 合田 督 記

2. 内海支部45年度レース予定表

レース名	参加資格		コース	開催日	レース委員長	申込期日	申込先	参加料	
	参加艇	参加資格						艇	乗員
※大阪湾横断レース	登録艇 未登録艇	日本外洋帆走 協会内海支部 特殊安全規則 に合格する艇	須磨 ~ 黒崎	7/26	浜永 裕	7/19に 到着のこと	浜永 裕 西宮市浜町 9-14 0798-22-6933	登録艇 無料 未登録艇 1,000-	乗員 会 無料 未加入 300-
※洲本レース	同上	同上	西宮 ~ 洲本	8/15	武内良夫	8/9に 到着のこと	武内良夫 神戸市長田区 山下町3-10 078-61-0892	同上	同上
紀伊水道レース	登録艇に 限る	日本外洋帆走 協会内海支部 安全規則に合 格する艇	新和歌浦 ~ 大島 ~ 新和歌浦	10/9~ 10/12	蔭山陽三	10/3に 到着のこと	蔭山陽三 豊中市新千里北町 2-8-7	4,000-	乗員 会 無料 未加入 1,000-
高松レース	同上	同上	的形 ~ 高松	10/31 ~11/1	塚本 修	10/24に 到着のこと	塚本 修 神戸市東灘区御影 町寅明乙女塚268 078-85-6364	3,000-	同上
※播磨灘レース	登録艇 未登録艇	日本外洋帆走 協会内海支部 特殊安全規則 に合格する艇	的形 ~ 西島 ~ 的形	11/22 11/23	神村正弘	11/15に 到着のこと	神村正弘 神戸市垂水区大町 2-1-8 078-76-3384	登録艇 無料 未登録艇 1,000-	乗員 会 無料 未加入 300-

備考

- 1) 未加入の方の参加料の内1,000.-はその年1年間の全レースに通用いたします。300.-円はそのレース限りとします。
- 2) コースは天候の状況により各艇長協議の上変更有り得ることとする。
- 3) 艇の参加料は申込書と同時に、乗員の参加料も出来るだけ申込書と同時に送金されたい。
- 4) 申込受付と同時に帆走指示書送付する。
- 5) ※はオープンレースNORC登録艇以外。未登録艇もすべてを含むレースを行うものとする。

Ⅵ 西 内 海 支 部

1. 茅三回別府レース案内

NORC西内海支部の主催する別府レースも今年で三回目を迎えましたが、今回はNORCの登録艇に限らず外洋ヨットの発展とヨット仲間の親睦を兼ね一般に開放、下記要領によりレースを実施致します。オーナー各位には振って御参加下さい。

記

1. 日 程 昭和45年5月3日(日) 1600 別府ヨットハーバーに集結
1800 ホテル二条にて艇長会議及び親睦会
5月4日(月) 0400 別府港出帆(機走可)
0500 スタート
1800 タイムリミット

其後、参加艇は西浦港に集結(平郡島)

2. レースコース

- ◎ スタートライン 大分港灯台と別府湾第4灯浮標を見通す線
- ◎ フィニッシュライン 山口県八島平根崎灯台を磁北に見る線

3. 参加資格：NORCの謳う外洋帆走艇に準ずる性格と性能を備えている艇であること

4. 参加料及び参加申込

出艇料 2,000円

乗組員(オーナーを除く)1,000円

申込用紙記入の上4月20日迄に

広島市紙屋町2丁目2番3号 田中敬一方

NORC西内海支部宛に送付して下さい

5. 安全装備：NORC安全規則に準ずる

6. T.C.F：5月3日の艇長会議に於て決める

7. その他：詳細は上記支部宛に御問合わせ下さい

Ⅶ 会員及び登録艇

1 会員及び登録艇の現状

45. 3. 15現在

	特別会員	正会員	準会員	TOTAL	登録艇
関東支部	184	556	34	774	184
東海支部	32	90	1	123	32
京都支部	14	30	1	45	14
内海支部	31	65	0	96	31
西内海支部	14	28	0	42	14
TOTAL	275	769	36	1080	275

(a) 住 所 変 更

会員番号	氏 名	〒	新 住 所
関 東 支 部 特 別 会 員			
68-903	本 座 栄 一	167	東京都杉並区下井草4-27-4 真下様方
69-123	窪山善右衛門	102	〃 千代田区平河町2-2-12 メゾン平河
5554	向 井 七男也	160	〃 新宿区柏木3-373 メゾン郡山
3350	馬 渡 健 治	230	横浜市鶴見区北寺尾1505
正 会 員			
2283	土 肥 丈 志	272	市川市本北方2-711
3359	高 野 克 己	113	東京都文京区本郷4-33-10 飯島商店内
7847	三 尾 和 也	560	豊中市曾根西町2-2-32 コーポ曾根 (068)53-6909
7869	内 田 寛	338	与野市上落合4-1180
2262	小 泉 信 一	240	横浜市保土谷区仏向町団地7-304
68-905	林 岳 彦	157	東京都世田谷区成城2-18-22
68-937	児 玉 登	154	〃 世田谷区下馬5-7-21(422)-0212
1232	西 尾 正 也	166	〃 杉並区堀ノ内3-37-14 閑静荘
69-133	三 石 利 光	188	〃 北多摩郡久留米町滝山6-2-1 ⁽⁰⁴²⁴⁾ 71-3130
内 海 支 部			
49	大 橋 哲 也	651	京都市右京区下津林楠町31-1
8	山 口 昭 治	650	神戸市生田区北野町4-24
37	松 木 哲	662	西宮市甲子園9-15-3-313
121	三 尾 泰 子	560	豊中市曾根西町2-2-32 コーポ曾根 (068)53-6909
東 海 支 部			
128	早 川 義 辰	460	名古屋市中区千代田4-11-3
西 内 海 支 部			
46	郷 田 完 二 (旧姓 宮内)	790	松山市道後緑台11-16
56	俊 成 勲 夫	338	与野市下落合1181-2 中国工業社宅

(b) 会 員 間 の 異 動

支 部 名	会員番号	氏 名	所 属 艇
-------	------	-----	-------

正会員より特別会員へ

関 東 支 部 3 3 5 0 馬 渡 健 治 (1 0 1 2) BACCANTCHESKII

準会員より正会員へ

関 東 支 部 69-005 三野村 和 雄 潮 風 III
" 68-979 高 谷 善 人 L O T U S
" 68-918 重 田 恵 子 "
" 69-133 三 石 利 光 S U N G O

3. 新登録艇の紹介

所 属	セー	ル	艇 名	RIG クラス	LOA×LWL×B×d	オーナー	フリート
関 東	361	CABO	FRIOS	S	7.480×5.760×2.420×1.500	春日寛司	油 壺
	1000	月 光	III	"	31'00"×24'20"×9'30"×5'90"	久保田正敬	"
	1001	SEAFARER	III	"	9.150×7.850×2.514×2.200	高橋靖裕	シーボニア
	1003	ROSE	BUD	"	6.500×5.400×2.040×1.400	斉藤重孝	諸 磯
	1005	潮	湧	"	7.480×6.037×2.350×1.500	山本泰久	(清水)
	1009	E M E	"	"	7.480×6.300×2.340×1.500	中山茂秀	シーボニア
	1010	祇 王	II	"	10.065×7.371×2.948×1.677	山田金作	油 壺
	1012	BUCCANT- CHESKII	"	"	7.100×5.500×2.300×1.200	馬渡健治	諸 磯
	1013	G U Z U	"	"	6.500×5.400×2.040×1.400	樫村雅紀	"
	1014	不 知 火	"	"	6.500×5.400×2.040×1.400	橋本浩一	江の島
	1018	昌	代	"	7.499×6.200×2.415×1.550	野沢忠義	シーボニア
	1019	鶺 度 根	"	"	7.490×6.100×2.300×1.550	渡辺恵太郎	諸 磯
	1020	は げ た か	"	"	7.490×6.100×2.300×1.550	加藤圭介	"
	1021	M I C O N O S	"	"	6.500×5.400×2.040×1.400	鳥井雅之	"
	1022	A M E N B O	"	"	6.500×5.400×2.040×1.400	鈴木輝男	油 壺
	1023	M O N T O U R	"	"	7.490×6.100×2.300×1.550	橋本孝禧	葉 山
	1025	パ ハ ン	"	"	31'00"×24'20"×9'30"×5'90"	矢島敏夫	油 壺
	1026	R O Y II	"	"	12.150×10.550×2.750×2.150	白井優太郎	沼 津
	1028	WHITE TOP	"	"	6.500×5.400×2.040×1.400	峰岸知男	諸 磯
	1029	S A M O A J R	"	"	6.500×5.400×2.040×1.400	大石 巖	シーボニア
	1031	SHO H J I J R	"	"	6.500×5.400×2.040×1.400	庄子橘雄	諸 磯
	1034	T O E I M A R U	"	"	6.500×5.400×2.040×1.400	三浦久司	シーボニア
	351	PUKA-PUKA	"	"	7.315×6.096×2.134×1.219	宮沢光英	(小網代)
東 海	243	夕	鶴	S	7.000×5.300×2.100×1.500	秋本正治	蒲 郡

所 属	セー ル %	艇 名	RIG	クラス	LOA×LWL×B×d	オーナー	フリート
東 海	248	SUNARUS	S		6.500×5.400×2.040×1.400	中村享司	鬼 崎
	1006	AQUAMAR- INE II	"		9.000×6.700×3.000×1.400	竹内政幸	蒲 郡
	1015	TURRET	"		5.500×4.900×2.000×0.700	服部一男	鬼 崎
	1016	GRAMPUS	"		6.500×5.400×2.040×1.400	井藤 猛	三河湾
京 都	1007	FROG III	S		9.000×6.700×3.000×1.400	真田恒男	ピワコ
	1008	FLEUR- BLEUE III	"		9.000×6.700×3.000×1.400	井上正春	"
内 海	1017	秋 津 洲	K		36'00"×28'40"×11'00"×6'30"	松下紀生	
	1024	MICKEY II	S		6.860×6.100×2.290×0.840	三木且視	
西内海	87	PIONEER	S		6.250×5.650×2.060×1.400	高山晃登	

4 名簿追記及び訂正

会 員 名	氏 名	変 更 事 項
関 東 支 部		
1208	平 出 昭 博	自 宅 TEL (045)581-9610
68-905	林 岳 彦	勤務先 東京芝浦電気(株)意匠部 TEL(044)52-2111
69-042✓	坂 崎 静 馬	鎌倉市十二所192 (0467)22-1444 勤務先 日本国土開発(株) (403)3311
69-070	長谷川 喜一郎	所属艇 (651)CIMA
内 海 支 部		
19	竹 村 建 一	自 宅 TEL (0797)22-8261 勤務先 ヘキスト、ジャパン染料販売部 TEL(06)942-1271~8 (染料部)
49	大 橋 哲 也	勤務先 日本ビクター(株)京都販売 TEL京都(313)3181
65 ✓	浜 名 和 慶	673 明石市林川端町854
81 ✓	宮 地 知 男	657-01 神戸市東灘区本山町北畑字保久良通3 宮地病院 TEL(078)43-0088

7.

◎ 「CHITA III」 チャイナ シーレースに優勝す

昨年6月以来、トランスバック レースに参加したり、南北太平洋のクルージング に技倆の練磨を続けていたNORC東海支部所属の「CHITA III」は、去る3月下旬に行われたチャイナ シーレースに、同支部の僚艇「EPICUREAN II」とともに出場し、栄ある優勝杯を獲得し、「EPICUREAN II」も、3位の「FRESIA」を大きく引き離して第2位に入賞という偉業をなし遂げた。

ここに、特輯をもってお知らせし、この優勝の喜びを分つ次第であります。

順位	艇 名	国 籍	修 正 時 間
第1位	「CHITA III」	日 本	8 2 ^h - 0 3 ^m - 1 6 ^s
第2位	「EPICUREAN II」	日 本	8 2 - 4 8 - 1 1
第3位	「FRESIA」	フィリッピン	8 4 - 1 4 - 5 9
第4位	「REVERIE」	香 港	8 5 - 0 0 - 4 0

あ と が き

長い間会員の皆さんに親しまれて愛読いただきました本誌でありましたが、海事思想普及委員会の担当に変わりましたため本号をもって発展的解消をいたしまして、本誌記事にもありますように、全く生まれ変わった機関誌が発行されますので、今まで以上にもり立てて立派なものにしたいと思っております。

各支部の方々には、長い間ご協力をいただき曲りなりにも終りを全うできましたことを誌上を借りて厚くお礼を申し上げます。

(高 村 記)